

「安心して健やかに暮らせる 地域協働のまちづくり」を

町と連携した地域福祉活動計画

東日本大震災、大津波で、被災市町村の中では被害は少ないと言われておりますが、人的被害こそなかつたものの、種市地区は大津波により住宅や水産施設、漁船などに多大な被害をもたらしました。被災者の支援のために配置された生活支援相談員は、被災者家庭や高齢者世帯を訪問し、丹念に生活再建や福祉ニーズへの対応に当たっています。



こうした要援護者を中心とした被災者の支援のほか、日常活動は、頼れる社協活動ひとつとして今後とも継続したいと考えています。

震災後改めて地域の暮らしの安心を支えてきたコミ

ユニティの維持と活性化が求められる一方で、小規模・高齢化する地域では、担い手不足をはじめとして、従来の地域活動が困難な状況にあり、生活・福祉課題が山積しています。町人口はピーク時の2万500人から1万900人に減少し、高齢化率は30%を超えています。

当社協は町が策定した「洋野町地域福祉計画」（平成25年3月）と強い連携と協調を保ちながら、「洋野町地域福祉活動計画」（5か年計画）の策定期段階にあり、基本理念を「安心して健やかに暮らせる地域協働のまちづくり」と位置づけ、今年度策定すべく取り組んでいます。

社協合併（平成18年4月）後は「融和」と「調整」に心を碎いてきましたが、先の全国社会福祉大会（平成25年）では厚生労働大臣表彰を受賞し、思いがけぬ受賞に戸惑いながらも皆様に感謝しています。

他に先駆けて実践してきた目に見える活動「ふれあいサロン」及び「地域支えあいマップ」づくりは、震災後改めて災害対応と要援護者への支援、住民と福祉専門職の役割、安全・安心の構築、コミュニティ再生などに大きな役割を持ち、その取り組みの成果が評価

されています。

「サロン」活動は平成11年にスタートさせて以来、現在ほぼ全域に整備し、55か所で開設しています。10数年を経て「ふれあい」から「助けあい」サロンへの気運も高まり、頻度は少ないものの認知症・障がいの方・寝たきりの方も参加するようになつてきました。

サロン活動は地域福祉をより円滑にする地域に根ざした生活支援のひとつです。高齢世代のみならず世代間交流を図りながら、「助けて欲しい」といえる環境づくり、ふれあいづくりを一層強固なものにしなければと考えています。一方「住民支えあいマップ」づくりは、地域の身近な課題に気づき、発見し、支えあいにつなげています。

私たちも豊かな
社会福祉の実現に
貢献します



私たちは社会福祉の発展を願い
福祉の活動を協賛する企業です。
明日の福祉を見つめ、地域社会
に貢献します。



洋野町社会福祉協議会
館野 隆 会長

策定委員には町策定委員会メンバー数人が加わり、町の地域福祉計画を計画的かつ効果的に推進するよう取り組んでいます。

「サロン」活動の役割と成果

「安心して健やかに暮らせる地域協働のまちづくり」に向けて、隣近所のネットワークを大切にしながら、見守りと支えあいを基調とした福祉のまちづくりを進めなければと思っています。

岩手中部地区
（医）梶栄会 ゆかわ脳外科
（株）理水工業
佐藤医院（花巻市藤沢町）
三浦医院
小瀬川皮膚科医院
吉浜漁業協同組合
釜石地区
(宗)石応禅寺
釜石瓦斯(株)
小泉内科・外科医院